※令和３年度以前入学生用

学校番号	３００１

令和５年度　生活科

教科	生活	科目	生活自立	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ひとりだちするためのビジネスマナー＆コミュニケーション（日本教育研究出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

卒業後の就労を目指して、職場実習へ積極的に参加し、基本的なビジネスマナーや働くために必要な体力とコミュニケーション能力を身に着けていきましょう。基本である挨拶と返事は普段から意識して取り組んでいきましょう。

２　学習の到達目標

高校卒業後に社会的自立を目指し、就労し障がいによる種々の困難を改善・克服するための知識・技能・態度を身に付ける。卒業後の社会生活を潤滑に送ることができるための体力、コミュニケーション能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	働く目的などを理解し、職場実習に参加するなど、就労に対して前向きに取り組んでいる。 積極的に挨拶や返事をしようとしている。	自分の苦手や得意を客観的に分析・理解し、進路について教員や家族と話し合うことができる。	挨拶と返事が基本的にできている。 指示された内容をメモに取ることができる。 わからないことを質問できる。	ビジネスマナーを理解し実践している。 報告・連絡・相談などの必要なコミュニケーションについて理解し実践しようとしている。
評価方法	授業ノート 職場実習日誌	授業ノート 宿題	授業での様子 職場実習での様子 自己評価	ワークシート 授業ノート 授業での様子

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	働くために	・働く目的 ・働くために必要な資質 ・仕事の種類 ・自己分析 ・販売実習 ・職場実習への参加	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:働くことの意味を理解し、前向きに職場実習などに取り組もうとしている。 b:自分の得手不得手を理解し、自分に合った進路を選択しようとしている。 c:職場実習や販売実習で挨拶・返事ができている。 d:報告・連絡・相談などの重要性を理解している。	授業ノート 職場実習日誌 職場実習での様子 自己評価 授業の様子
2	ビジネスマナー	・挨拶、返事、敬語 ・履歴書の書き方 ・面接練習 ・販売実習 ・職場実習への参加	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:職場実習や就職試験に向けて意欲的に取り組んでいる。 b:志望動機や自己 PR を相談しながら考えることができる。 c:履歴書が書ける。 c:職場実習や販売実習で挨拶・返事ができている。 d:報告・連絡・相談などの重要性を理解している。	授業ノート 職場実習日誌 職場実習での様子 自己評価 授業の様子
3	お金について	・お金の使い方 ・生活費について	○ 	 ○	 ○	○ 	a:お金の使い方に関心を持ち授業に取り組んでいる。 b:クレジットカードについて、メリットデメリットを理解し、必要な買い物かどうか判断できる。 c:生活費について無理のない支出計画を考えることができる。 d:　適切なお金の使い方について理解している。	授業ノート 自己評価 授業の様子

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。